

令和元年度 諏訪二葉高校同窓会富士見支部総会参加報告

令和元年 9月 28日(土)

富士見町コミュニティプラザ AV ホール

去る 9月 28日に富士見支部総会が行われ、会長の岸が出席いたしました。

芝生で遊ぶ子供たちの傍らに建つ立派な建物、全国一の貸し出し数を誇る富士見町図書館がある、聞きしに勝る施設の中の AV ホール。私が住む町とは随分な違いに先ずは驚きを覚えました。

そのホールの中にデンと置かれているグランドピアノの生伴奏で出席者 50 名が校歌を歌い、総会は始まります。

先ず、支部長の三井淳子さんより活動報告と会計報告がなされ、次期の役員に引き継いでいきたい旨お話されました。

続いて教頭先生から昨今の二葉高校の様子や、高校再編成についての現状説明がなされ、私からは直前に行われましたロビーコンサートの様子を中心に、同窓会活動の報告と日頃の支援、協力についてお礼を申し上げました。

その後富士見町地域包括支援センター所長の後町みどりさん（高校 37 回生）に「老いと介護」をテーマに講演いただきました。

30 年近い介護の現場での貴重な体験をユーモアいっぱいにお話され、介護を抱える多くの会員、そしていずれ来る自分の老いの姿を現実視しながら講演に聞き入る会員、それぞれにとって切っても切れない大変有意義なお話で、予定の時間を過ぎてもしっかりとお聞きしたい内容でした。

私も両親の介護に直面している立場で、日々奮闘されている後町さんに頭が下がる思いで拝聴しました。

50 名というたくさんの方の会員のご出席、きびきびした進行、組織化された支部運営に感動しながら会場を後にいたしました。ここ富士見支部でも連綿と二葉の灯が灯され続けています。



岸記